



たいよう

子育て通信

令和4年 NO. 175

東加古川子育てプラザ

TEL 441-0500

加古川駅南子育てプラザ

TEL 454-418

<https://kiraring.jp/>



雨上がりの空に、大きくてきれいな虹がかかりました。



お気に入りの長靴をはいて、水たまりでパシャパシャ。

元気にあそぶ子どもたちの声が聞こえてきます。これまでの2年間、感染拡大を防ぐため、遠くへお出かけすることや親しい人に会うことなどみんなで気をつけてセーブして過ごしてきました。家族と過ごす時間が増え、庭で野菜の苗を育てたり、ゆっくり絵本を読んだりと日々を楽しく過ごす工夫をしていた方もあったようです。とはいえ、子どもとの長い一日をどう過ごすか、毎日いろいろと大変だったことでしょう。世の中も徐々に緩和されつつあります。感染対策に考慮

しながら、これからも親子が集う子育てプラザの魅力をどんどん発信していきます。お楽しみに♡



♡心温まる一コマ♡

★僕だけのママ★ 下の子が生まれて、なかなか上の子に構ってあげられていないと話すママ。今日は下の子を預けて、上の子とゆっくり過ごすために、託児サービスを利用しました。3時間ママをひとり占めできたKくん。お迎えの時、Kくんは弟をギュッと抱きしめました。

「Kくん、ママは弟思いのやさしい気持ちをきっと忘れない」

★柿ってどんな味!?!★ あそびにきていたAちゃん。おままごとで上手

に野菜などを切っています。オレンジ色の果物を持ってAちゃん「パパ、これなあに？」

パパ「柿だよ。」 Aちゃん「おいしいの？」



「Aちゃんそう初めまの柿の味ほどなかったか。が最初に買ったのを憶らぬ味だ」

こんなときどうする？ イヤイヤ期



子育てプラザを利用している保護者から「イヤイヤ期まっただ中！思い通りにならないと泣き叫んだり、ひっくり返ったり、おもちゃを投げたり・・・」「何でもイヤの連発！こっちがイヤになる」等の声を聞きます。どう対応したらよいのか悩んでいる方が多いです。イヤイヤ期を乗り切るヒントになればと思います。

◇なんで「イヤ！」を連発するの？

- ・2歳ぐらいになると「自分でやりたい」という気持ちが芽生え、自己主張できるぐらい子どもの心が成長してきた。
- ・自分でやってみたいと思う一方で、まだまだパパやママに甘えたい。その気持ちをうまく伝えられなくて気を引こうとする。
- ・自分でやろうとした結果うまくいかず、イライラから泣き叫ぶ。手助けしようとする、自分でしたい気持ちから更に泣く。
- ・眠気や疲れを感じても、自覚しにくく、またそれを大人にうまく伝えられないので「イヤ」と言ってしまう。

◇では、どう対応する？

まずは、子どもの気持ちをくんでやり共感してあげましょう。「嫌だったんだね」「うまくできなくて悔しいね」等。子どもはまだうまく言葉では気持ちを伝えられませんが、親に気持ちをわかってもらい、抱きしめてもらうだけで、落ち着くこともあります。また、親が子どもの気持ちや今起きていることを言語化することで、今の自分の気持ちの状態を把握し、気持ちの整理ができるようになってきます。これはとても大切なことです。

また、自分でやりたい気持ちを否定せず、途中まで手伝ってやり、最後の仕上げを子どもに任せてあげると、達成感や満足感を得ることが出来ます。できたときは大絶賛してあげてください。あそびに夢中になっている時に、お片付けや食事の時間などで、していることを急にやめさせようとする「イヤ」につながります。「〇〇が終わったらお片付けしようね」とワンクッションおくことで、反発心が減るかもしれませんね。

どうぞ、子どもと対等にけんかせず、いずれ終わりは来るので、ゆったりとお子さんのイヤイヤにつきあってあげてください。

それでも困ったら、気軽にスタッフに声をかけてくださいね。



大人のための絵本紹介



『今日』

伊藤 比呂美 訳 下田 昌克 画
福音館書店

育児に追われ、何もできなかったように感じる毎日。そんな1日の終わりに、赤ちゃんと過ごしたかけがえのない「今日」を振り返る詩です。

ニュージーランドの子育て支援施設の壁に貼られていたこの詩は、誰が作ったのかわからない作者不明の作品です。子どもとの時間を過ごしながらの毎日、今日やろうと思っていたことが思うようには運びません。今日できなかったことを数えるより、今日できたことに目を向けよう。自分を褒めたり認めたりする気持ちを大切にしてください。肯定的な毎日を送って欲しいと伝えています。

はじめての育児に不安をもつ世界中のママたちに、あたたかなエールを贈ります。



『あんなにあんなに』

ヨシタケ シンスケ 著者
ポプラ社

子どもとの毎日は、いろいろなことがあります。振り返れば、あんなにいろいろあって大変だったことが、やがて愛おしい時間に変化していきます。幸せな時間をくれた子どもに「ありがとう」と伝えたい作品です。パパやママ自身も子どもの頃を振り返り「私もこうやって育てられてきたのだな」と感じるができるかもしれません。子育て中の方や、もう子育てを卒業した方にも、一度は読んで欲しいおすすめの一冊です。



イベント情報

～産後ママのほんわかタイム～

要申込み

【日 時】 毎月第4金曜日 14時～15時30分
※祝日と重なる場合は第3金曜日に変更します。

【場 所】 東加古川子育てプラザ（ぞうの部屋）

【対 象】 0～6カ月の子どもを持つ母親（子ども同伴可）

【定 員】 5組（先着順）

【申込み】 開催日の2週間前の9時より電話または窓口に
東加古川子育てプラザ（079-441-0500）



～お出かけ子育てプラザ～

子育てプラザのスタッフがみんなの近くにやってきます。いつも子育てプラザに来ているお友だちも、子育てプラザが遠くてあまり行けないお友だちも、みんな遊びにきてください！

【内 容】 10:15～受付
10:30～季節の遊びや親子ふれあい遊び
11:30～12:00 交流タイム
子育て相談・解散

とき・場所	定員	申込み開始日	申込みフォーム
8月31日(水) 別府公民館	先着 25組	8月1日	

※申込みフォームからお申し込みください。

★9月以降も毎月開催します。屋外での開催日は、申込み不要です。気軽に遊びに来てくださいね。
くわしくはHPでご確認ください。



きらりing 編集室

東加古川子育てプラザが「かこてらす」に移転オープンしてから2カ月が経ちました。複合施設にいろんな世代が集い

毎日多くの方が来館し、子どもたちの元気な声が聞こえています。たくさんの方の中で、互いに支えあい助け合って子育て、う、みんなで子どもたちを見守って行けたらいいです。引き続き感染対策をして、お待ちしております。



子育てプラザ